

平成26年度日本歯科大学北陸地区歯学研修会

高齢者への歯科治療と歯科治療患者の高齢化



日 時：平成 26 年 8 月 2 日（土）
場 所：ホテルニューオータニ高岡
主 催：日本歯科大学校友会
日本歯科大学歯学会
北陸地区日本歯科大学校友会

ホテルニューオータニ高岡 ご案内図



■交通のご案内■

東京方面より

- 東京(航空機)富山空港(シャトルバス)高岡
〈約1時間40分〉
- 東京(JR)高岡駅
〈約3時間20分〉
- 東京(関越自動車道)長岡JCT. 〈北陸自動車道～能越自動車道〉高岡 〈約6時間〉
- 東京(関越自動車道)藤岡JCT. 〈上越自動車道〉上信越JCT. 〈北陸自動車道～能越自動車道〉高岡 〈約5時間30分〉

名古屋方面より

- 名古屋駅(JR)高岡駅
〈約3時間10分〉
- 名古屋(名神高速)米原JCT. 〈北陸自動車道～能越自動車道〉高岡 〈約3時間30分〉
- 名古屋(名神高速)一宮JCT. 〈北陸自動車道～能越自動車道〉高岡 〈約2時間40分〉

大阪方面より

- 大阪(JR)高岡駅
〈約3時間〉
- 大阪(名神高速)米原JCT. 〈北陸自動車道～能越自動車道〉高岡 〈約4時間〉

金沢方面より

- 金沢(北陸自動車道～能越自動車道)高岡
〈約50分〉



The New Otani

(株)ホテルニューオータニ高岡

〒 933-0035

富山県高岡市新横町1番地

TEL 0766-26-1111

FAX 0766-25-1710

ホームページ <http://www.newotani-takaoka.co.jp>

メール roominfo@newotani-takaoka.co.jp

ホテルの最新情報はホームページで<http://www.newotani-takaoka.co.jp>

平成26年度日本歯科大学北陸地区歯学研修会並びに会員大会

平成26年8月2日（土）

会場 ホテルニューオータニ高岡

14:00 受付開始

司会 富山県日本歯科大学校友会 専務理事 立浪 徹

14:30 開会式

開会の言葉 富山県日本歯科大学校友会会长 上田外喜男

ご挨拶 日本歯科大学校友会会长 近藤 勝洪

日本歯科大学歯学会会会长 勝海一郎

14:45 会員大会

〈学長講演〉

「日本歯科大学は、今」

日本歯科大学理事長・学長

日本歯科大学校友会会长頭

中原 泉

15:30 北陸地区歯学研修会

テーマ 「高齢者への歯科治療と歯科治療患者の高齢化」

〈講演1〉 座長 富山県校友会理事 上田和孝

「食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか？

一口腔リハビリテーション多摩クリニックの現状と展望を添えてー」

日本歯科大学生命歯学部教授

口腔リハビリテーション多摩クリニック院長 菊谷 武

17:00 質疑応答

17:10 〈講演2〉 座長 富山県校友会理事 嶋直毅

「高齢者とインプラント治療」

日本歯科大学新潟病院口腔外科 准教授

口腔インプラントセンター センター長 廣安一彦

18:40 質疑応答

18:50 閉会の辞 富山県日本歯科大学校友会副会長 安田篤

18:55 記念写真撮影

19:00 懇親会 司会 富山県校友会常務理事 小森実

日本歯科大学校歌

作詞:木暮英男/校閲:児玉花外/作曲:近藤栢次郎/編曲:前田俊明

おおぞらながるるあかつきの
かねのひびきにあけ一そむる一
ふようはつだのすがたこそわ
れらがぼこうのまもりなれ一
ちはよしきだんふじ一みはらな
はよしにほんしがだいがく

大空流るる暁の
鐘の響きに明け初むる
芙蓉八朵の姿こそ
吾等が母校の守りなれ
地はよし九段富士見原
名はよし日本歯科大学

高鳴る血潮の香をのせて
岸打つ文化の波頭
振り立つべき同胞の
甘幸もたらす学徒われ
地はよし新潟浜の浦
名はよし日本歯科大学

今さし出づる朝日子の
平和と愛との輝きに
照りそう真紅の光こそ
吾等が母校の使命なれ
地はよし九段富士見原
名はよし日本歯科大学

ご挨拶

富山県日本歯科大学校友会会長
上田 外喜男

富山県日本歯科大学校友会では、平成6年以来、20年ぶりの日本歯科大学校友会、日本歯科大学歯学会、北陸地区日本歯科大学校友会によります、日本歯科大学北陸地区歯学研修会を開催することになりました。準備のため御苦労頂きました近藤勝洪日本歯科大学校友会会长、勝海一郎日本歯科大学歯学会会長、渡邊文彦準備委員長はじめ多くの先生方に御礼申し上げます。

北陸地区日本歯科大学校友会は、隔年ごとに、石川、福井、富山の3県持回りによりまして、学術研修会、会員大会を行って、歯科医学の研鑽を重ね会員相互の親睦を深めてまいりました。

現在、少子高齢化に伴って、社会の人口構成の変化、社会情勢などにより、歯科医療界でも疾病構造の変化があります。

中原泉日本歯科大学理事長・学長、日本歯科大学校友会会頭のお言葉の中に、「日本歯科大学は、歯科界をリードして、トップランナーを走っています。」と述べておられます。社会の状況は、いつも変化に富んでいます。日本歯科大学を母校とする私達歯科医療人は、これから時代の要請をうけ、口腔を通じて、社会を支えるトップランナーになることになります。これから歯科医師は今まで以上に、質の高い医療を提供して人々の健康維持のため口腔の健康を直接管理する立場にあります。

本日の歯学研修で私達日本歯科大学校友は、社会の変化を見据えて、質の高い医療の提供ができますよう、研鑽を積んでまいりたいと存じます。

「日本歯科大学は、今」

中原 泉 (なかはら せん)

日本歯科大学理事長・学長

日本歯科大学校友会会頭



100 という数字には、インパクトがあります。

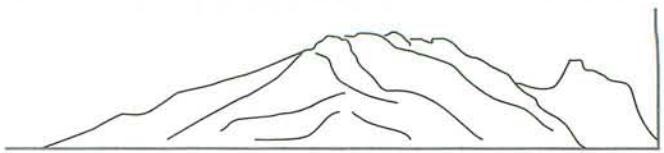
私どもの日本歯科大学は、2006 年に創立 100 周年を迎えました。

一卒業生として、100 周年に立ち会えたことは幸せでした。

さらに 2011 年 3 月 11 日に、第 100 回卒業生を送りだしました。

その卒業式のあとに、東日本大震災が発生し、私どもには忘れられない日となりました。

このたびは、日本歯科大学の現在と歯科大学の事情についてお話をいたします



講演 1

■高齢者への歯科治療と歯科治療患者の高齢化■

「食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか？」 —口腔リハビリテーション多摩クリニックの現状と展望を添えて—

菊谷 武 (きくたに たけし)

日本歯科大学生命歯学部 教授

口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長



高齢化の進展した日本において、誤嚥が原因となる肺炎による死亡者は増加し、日本人の死因の第3位になった。また、食品による窒息事故死は年間7千にも及ぶとされる。さらには、飽食の時代において多くの要介護高齢者は低栄養状態であるという。

高齢者にみられる食の機能低下は、一度発症すると負の連鎖に陥りやすく、最終的には口から食べることが困難となり健康寿命の短縮につながる。負の連鎖のきっかけは、咬合支持の喪失など口腔の問題が挙げられる。高齢者医療における歯科医療の役割とは、一義的にこの咬合支持の崩壊の予防と再構築にあると言える。高齢者に対する歯科医療の目標設定において、患者の今おかれているステージの把握と時間軸の考慮が必要となるが、多くの現場においてこれらが考慮されているとは言い難い。患者の食べることの可否やどの程度までの食形態が安全に食べができるかということについては、咀嚼機能や嚥下機能に加え、患者を取り巻く環境にも左右される。私たち歯科医師は、食べることを支えるための専門職であることは言うまでもない。しかし、これまで、義歯の適合や歯の保存にのみこだわり、食べること全体が見てこなかった。一方、口腔機能を守る職種としての歯科の専門性はゆるぎないものがある。

地域の高齢者の食事を支えているのは、コンビニエンスストア（コンビニ）だといわれている。コンビニは若者向けの店舗と思われているが、来店者の3割は50歳以上で、少量の買い物にも適しているという。一方、どの科の医院より多い歯科医院は（歯科診療所7万件）、コンビニの数（5万件）より多いとされ、地域に根差した医療を展開している。歯科医療は、地域の高齢者の食生活を支える先兵となるべきである。

日本歯科大学では、口腔リハビリテーション多摩クリニックを東京小金井市に開設した。本クリニックでの取り組みは、地域包括ケアシステムにおいて、我々が実践できる取り組みの先駆けであり、モデルとして社会への提案を目指している。

本講演では、患者の食を支えるべく、患者のステージに応じた、口腔機能の評価に基づく対応法と、当クリニックの現状と展望についてお話しする。

◇略歴◇

平成元年 歯学部附属病院高齢者歯科診療科入局
平成13年10月より 附属病院 口腔介護・リハビリテーションセンター センター長
平成17年4月より助教授
平成19年4月より准教授
平成22年4月 教授
平成22年6月 大学院生命歯学研究科臨床口腔機能学教授
平成24年1月 東京医科大学兼任教授
平成24年10月 口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長
東京医科大学兼任教授
岡山大学、広島大学、九州歯科大学、徳島大学、北海道大学、
日本大学松戸歯学部 非常勤講師

所属学会

日本老年歯科医学会 理事、評議員
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 理事、評議員
日本障害者歯科学会 評議員

MEMO

講演 2

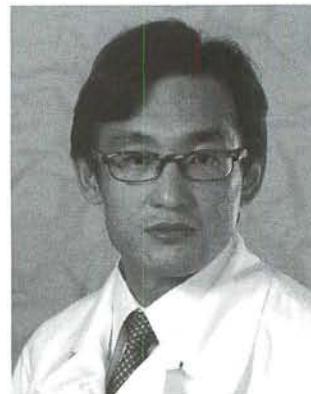
■高齢者への歯科治療と歯科治療患者の高齢化■

「高齢者とインプラント治療」

廣安一彦（ひろやす かずひこ）

日本歯科大学新潟病院口腔外科 准教授

口腔インプラントセンター センター長



症例：70歳の男性。主訴：咀嚼障害。既往歴：特記事項なし。現病歴：30年以上前から上下総義歯を使用しているが、数件の歯科医院を受診し、調整を繰り返すも義歯が安定せず、インプラント治療を希望され来院する。顎堤は義歯床や咬合の不適合により上下ともに高度に吸収している。医療面接にて、人生最後にしっかりと咬んでおいしく食事がしたいとの希望が強く、経済的、時間的にも余裕があり、必要があれば骨移植等も希望されている。なお、全身状態には問題は見られない。

もし、このような患者さんが来院されたら、先生ならどうされるでしょうか？

日本の平均寿命は、平成25年版 高齢社会白書によると男性79.95才、女性86.35才（平均83歳）と世界第1位の長寿国となっています。そして65歳以上の高齢者が占める割合は前年の23.3%から24.1%へと増加し、日本がますます超高齢社会へと進んでいることが明らかとなっています。他の年代に比較すると何らかの疾患により医療機関を受診する受療率は高いものの、それでも日常生活に支障が見られない健康寿命といわれる年齢は、男性70.42歳、女性73.62歳と発表されています。

質の高い医療が求められていることやインプラント治療が一般社会に浸透している現状では、たとえインプラント治療を行わない医院であっても、欠損補綴の選択肢の一つとしてインプラント治療に対する正しい知識や情報を患者さんに説明する必要があると思われます。また、現在インプラント治療を受けられている患者さんの多くは50～60才代です。そしてインプラント治療の成功率が10年経過で90%強と高率であることを考えると、インプラント治療を行っていない先生もインプラント治療を受けられている患者さんに接する機会が今後ますます増加すると思われます。

そこで今回の講演では、今行われているインプラント治療の現状や問題点、高齢者に対するインプラント治療を考慮する際に注意すべき事項（加齢に伴う変化、注意すべき全身疾患や服用薬、医科との医療連携、適応可否の判断など）、そしてすでに治療を受けられた患者さんが高齢者になっ

た場合の問題点や注意事項（QOL を維持するための口腔内の変化とインプラントの有効活用、メインテナンス、インプラント周囲炎に対する対処法など）について検討・考察し、皆様と共に考えてみたいと思います。

◇略歴◇

- 1990年3月31日 日本歯科大学新潟歯学部 卒業
1995年3月31日 博士（歯学）の学位取得（日本歯科大学）
2001年4月1日 日本歯科大学新潟歯学部口腔外科学第一講座 講師
2005年4月1日 同 助教授
2007年4月1日 日本歯科大学新潟病院口腔外科診療科 准教授
口腔インプラントセンター長 併任

所属学会

- 日本口腔外科学会専門医・指導医、日本口腔診断学会認定医
口腔インプラント学会専門医、教育委員会委員、代議員
日本がん治療認定医機構 暫定教育医

MEMO

MEMO

平成 26 年度日本歯科大学北陸地区歯学研修会準備委員・実行委員

準備委員長

渡邊 文彦 (66回) (日本歯科大学歯学会副会長)

準備副委員長

田中 良彦 (71回) (日本歯科大学校友会常務理事)
伊井 克安 (63回) (福井県日本歯科大学校友会会长)
北崎 裕二 (68回) (石川県日本歯科大学校友会会长)
上田外喜男 (66回) (富山県日本歯科大学校友会会长)
安田 篤 (65回) (富山県日本歯科大学校友会副会长)
松岡 正道 (66回) (富山県日本歯科大学校友会副会长)

準備委員

梅田 英樹 (65回) (福井県日本歯科大学校友会専務理事)
真泉伊都夫 (73回) (石川県日本歯科大学校友会専務理事)
立浪 徹 (73回) (富山県日本歯科大学校友会専務理事)
小森 実 (68回) (富山県日本歯科大学校友会理事)
横田 憲明 (71回) (富山県日本歯科大学校友会理事)
水越 弘 (73回) (富山県日本歯科大学校友会理事)
小池 潤 (73回) (富山県日本歯科大学校友会理事)
桶家 樹 (74回) (富山県日本歯科大学校友会理事)
山本 尚靖 (77回) (富山県日本歯科大学校友会理事)

実行委員 (富山県日本歯科大学校友会)

今村 知代 (73回) 串田 茂 (75回) 清水 秀明 (75回) 牧野 京介 (75回)
大野 和人 (78回) 越田 喜規 (78回) 嶋 直毅 (78回) 宮田 雅代 (79回)
吉田 真治 (79回) 上田 和孝 (85回) 木島 香奈 (85回) 小杉 齊 (85回)
小坂井 満 (86回) 宮田 就弘 (86回) 篠原 昭智 (87回) 石多 謙一 (88回)
岡崎 孝亮 (88回) 稲垣恭仁子 (89回) 安田 由美 (91回) 松岡 正浩 (94回)

監 事

河村 允 (58回) (富山県日本歯科大学校友会監事)
仲村辰一郎 (66回) (富山県日本歯科大学校友会監事)



〈国宝 瑞龍寺〉